

2021年 児童発達支援事業 自己評価結果【児童発達支援】

		チェック項目	状況	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○	適切なスペースになっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	利用定員10人に対して4~5名の職員を確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	△	全てバリアフリーではありませんが、室内はフラットになっています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	職員全体で共有しながら療育にあたっています。個々の記録のため観察記録を毎週記入し、支援計画の作成時に参考にしています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	実施の結果は職員間で共有し、今後の業務の参考にしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	△	外部評価は行っていませんが、法人内での結果共有を行い改善するためには何が必要かを他の職員も交えて検討するようにしています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	愛知県や市からお知らせのある研修にはなるべく参加できるようにしています。内容の共有も大切なため、全員が参加できる日程の研修を年に1回は案内しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	観察記録を中心に職員で話し合い、その後保護者との面談をして支援計画を作成しています。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	一般的な発達表を元にはしています。個々の成長段階を確認しながら、その段階に見合った内容を参考にしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	月案・活動計画表を作成しみんなで話し合いながら活動内容を決めています。

	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	過替わりで活動内容の変更をするように計画しています。季節の遊びも取り入れて、多くのことが経験できるよう工夫しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○	子どもの好きなことや、発達に必要なことを踏まえた上で計画を作成しています。個別活動は個々の課題として行い、集団活動は午前中の課題として行っています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	確認しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	△	事前の打ち合わせは確実にしていますが、事後の話し合いは全員ではできないことが多いので、個々にまとめてもらうか、いる職員だけで話し合ったりしています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	観察記録は必ずとるようにしています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	モニタリングは定期的に行っています。支援計画の見直しは半年に一度保護者との面談も含め行います。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○	行っています。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児発管または主任保育士が参加しています。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	×	医療ケアが必要な子の受け入れはしていません。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害児福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		

保護者への説明責任等

②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	×	市内には発達センターはありませんので、連携もありません。ただ、児童相談センターや保健センターとの連携は密に行っています。
②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△	こども園と併用されているお子さんに関しては、そちらでの関わりが活動の機会となっています。
②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	参加しています。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○	個別の連絡ノートにて、お子さんの様子などは保護者に伝えていきます。また保護者の方からもお家の様子は伝えて頂いています。
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	相談には常にお答えしています。また面談時期以外でも時間を必要とさせる方には、時間をとり面談を実施しています。
③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	入園前に説明会を行い、説明しています。
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	行っています。
③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	父母会はありませんが、保護者参加のイベントを年に4回ほど行っていますので、保護者同士はお迎えの時間も含め交流はあるようです。今はラインなどでも交流の場を設けているようです。
③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談や申し入れがあった場合は職員間で話し合い、適切に対応するようにしています。なるべく素早い対応を心がけています。
③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	会報誌は発行していませんが、行事予定は毎月お知らせしています。また毎月活動写真の掲示も行っていますので、お子さんの様子は確認してもらえます。
③5	個人情報に十分注意しているか	○	書類の保管は事務室にて行っています。保護者には個人情報に関する同意書を記入してもらい、写真を撮影したり最後にスライド上映することへの許可を頂いています。
③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個々によって配慮内容は違ってきますので、視覚支援などを用いてわかりやすくしています。

非常時等の対応

③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△	関わりのあったかたがいなくなり、あまり関わる機会はありませんが、あいさつなどきちんとして頂いています。
③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	周知しています。
③9	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月の点検と避難訓練は年に2回行います。
④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	△	職員会議での周知と県や市から送られた文章などは共有しています。
④1	どのような場合にやむお得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	△	拘束を必要とするお子さんがいないため、実際には行ってはいません。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	対象児がいないため行ってはいません。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	作成し、共有しています。